

◎ 失格基準の具体例

以下の場合、A社は有効となり、B社は基準を満たさないため失格となります。

【市の積算】

基準額: 12,000,000円^(注1) × 90% = **10,800,000円**

(注1) 直接工事費: 42,000,000円 - 機器費: 30,000,000円

名称	金額	備考
直接工事費	42,000,000円	
A.〇〇工事		
1.機器設備		
①機器費	10,000,000円	諸経費調整該当品のみ
②その他工事費	2,000,000円	
2.〇〇設備	2,000,000円	
3.〇〇工事	2,000,000円	
B.〇〇工事		
1.機器設備		
①機器費	20,000,000円	諸経費調整該当品のみ
②その他工事費	3,000,000円	
2.〇〇設備	1,000,000円	
3.〇〇工事	1,000,000円	
C.発生材処分	1,000,000円	

【A社の積算】

有効

比較対象額: **15,000,000円**^(注2) ≥ 10,800,000円(基準額)

(注2) 直接工事費: 35,000,000円 - 機器費: 20,000,000円

名称	金額	備考
直接工事費	35,000,000円	
A.〇〇工事		
1.機器設備		
①機器費	6,000,000円	諸経費調整該当品のみ
②その他工事費	1,000,000円	
2.〇〇設備	3,000,000円	
3.〇〇工事	2,500,000円	
B.〇〇工事		
1.機器設備		
①機器費	14,000,000円	諸経費調整該当品のみ
②その他工事費	3,500,000円	
2.〇〇設備	2,000,000円	
3.〇〇工事	1,500,000円	
C.発生材処分	1,500,000円	

【B社の積算】

失格

比較対象額: **8,000,000円**^(注3) < 10,800,000円(基準額)

(注3) 直接工事費: 34,000,000円 - 機器費: 26,000,000円

名称	金額	備考
直接工事費	34,000,000円	
A.〇〇工事		
1.機器設備		
①機器費	8,000,000円	諸経費調整該当品のみ
②その他工事費	1,500,000円	
2.〇〇設備	1,500,000円	
3.〇〇工事	1,000,000円	
B.〇〇工事		
1.機器設備		
①機器費	18,000,000円	諸経費調整該当品のみ
②その他工事費	2,500,000円	
2.〇〇設備	500,000円	
3.〇〇工事	500,000円	
C.発生材処分	500,000円	